

先人たちの想いを伝える 今昔の歴史



阿武隈民芸館

昭和五五年三月に電源交付金事業として開設された民芸資料館。川内村に古くから伝わる民芸品や土器などの出土品をはじめ、阿武隈地域や福島県内に残る陶磁器、漆器、木工品などが展示保存され、未来の産業、文化、生活を創造するための場として活用されている。



虚空像菩薩座像（上川内字西迎）

県指定重要文化財

長福寺の開基に遠藤筑前守が守護本尊として、信州松本より奉祀したもので、現在上川内字久保虚空蔵堂に安置されている。平安時代の作とされ、色彩座像で高さ七一・五cmの檜材一木造りである。



久保の楓（上川内字久保）村指定天然記念物

小古社あり樹齢数百年と推定される楓で高さ一五m、周囲六・四mで他にも数本ある。

林の大杉（上川内字林）村指定天然記念物

杉の高さ五四m、周囲六m、枝の広がり一八mの大木で、地上二七m位から幹が三本に分かれている。

伝説によると、坂ノ上田村磨が霧島山の逆賊征討の折に、大元神社に献植したものとされており、樹下に小祠が残っている。

